

2019年11月13日度通算第85回BABOK研究会（議事録）

PM学会中部支部

IIBA中部支部

1. 日時

2019年11月13日（水）18:30～20:00

2. 場所

（株）第一コンピューターソース8階会議室2

3. 出席者

（敬称略順不同）

近藤 史人、河村 信彦、川島 由久、鳥本 昌孝、金田 芳博、中村 康司、加藤 奈穂子、

永井 景子、栗田 裕之、日高 充、鈴木 聡（記） 以上11名

4. 議題

- （1） PM学会中部支部、シンポジウム活動報告投影資料の確認
- （2） 次年度活動内容について
- （3） 忘年会について

5. 議事

- （1） PM学会中部支部、シンポジウム活動報告投影資料の確認

IIBAセミナー資料をベースに、シンポジウム向けに作成した活動報告資料を、新しく参加された栗田さん、日高さんへの活動内容の説明もかねて、近藤座長に説明頂いた。

シンポジウムでの報告時間は15分なので、本番ではポイントのみの説明となる。

(※シンポジウムの概要は下記チラシを参照願います)

<https://www.spm-hq.jp/committee/chubu/uploads/files/2019%E3%82%B7%E3%83%B3%E3%83%9D.pdf>

(※シンポジウムの参加申し込みは下記ページでできます)

<https://www.kokuchpro.com/event/74d3af57836e01a131d49a445c1591c4/>

(2) 次年度活動内容について

次年度の活動テーマについて、ディスカッションを行った。

金田さん、鳥本さんより、現在実際に取り組んでいる BAO (Business Analysis Office) 活動について紹介があった。PMO がプロジェクトマネジメント方式の標準化やプロジェクト間のリソースやコストの各種調整、プロジェクトマネジメント業務の支援を行うのに対して、ビジネスアナリシスに対して同様の活動を行う組織。

背景として、経営が適切にビジネスの方向性を描いても、現場の意識がなかなか変わらず、リスク要素となっているケースがある。例えば現場のリスク管理に CLD を適用するなど、効果的ではないかとの話があった。

中村さんより、PMBOK の適用は Total でビジネスコストを低減すると考え、適用を進めたが、現場負荷が高くなると、適用が進まないというジレンマがあるとの話があった。

全体最適が現場まで行き渡らず、部分最適になっていることの背景に、ビジネスに対する共通認識や指標が共有されていないことが考えられる。そこで上流から現場まで、数値化ツールなどを活用し、認識の共有やリスク分析の支援を行う BAO 活動が効果的ではないか。

次年度、活動の具体的な内容までは詰められなかったが、BAO 活動をテーマとした活動を行うこととする。

(3) 忘年会について

12月には研究会を一回お休みして、忘年会を実施する

日程：12月20日 18:30～

場所：はらみ専門店 菘晴屋（きばらしや）

<https://tabelog.com/aichi/A2301/A230101/23070941/>

※金田さんが店長代理を任されているお店です w

6. 次回予定

(1) 日程

第86回(仮) 2020年1月15日(水) 18:30 ~ 20:30

(2) 議事予定

2020年度の活動内容の決定、ロードマップの策定

7. 成果物

PM 学会中部支部シンポジウムでの活動報告資料。

(サイズが大きいのので Google Drive に配置します。下記リンクから参照願います。)

<https://drive.google.com/file/d/1wSMJvk5AlalXQW0x6NSB9pSh9N0X8ICf/view?usp=sharing>

8. その他

(1) 懇親会

研究会後、忘年会の下見を兼ねて、菘晴屋で懇親会を実施した。

参加者：近藤 史人、鳥本 昌孝、金田 芳博、加藤 奈穂子、永井 景子、鈴木 聡